

## 交通安全だより第11号

### I. 11月の安全運転管理について

#### 1. 構内事故防止対策を実施しましょう

##### ～構内事故の原因を周知する～

構内では、バック時に構造物や駐車車両と接触するといった事故が多く発生しています。こうした事故は、

- ・バックする前に駐車スペースの安全確認ができていない
- ・ミラーやバックモニターを過信し、目視での安全確認を行っていない

といったことが原因で発生しています。

運転者に対して、これらの構内におけるバック事故の原因を周知し、

- ・ハンドルを切りながらバックせず、できる限り真っすぐバックする
- ・バック中、安全確認に不安が残る場合は、降車して安全を確認する

といった運転行動を習慣づけるようにしましょう。



##### ～構内走行ルールの見直し～

構内事故防止を図るための具体的な措置として、構内走行ルールの見直しを実施しましょう。例えば、構内走行時の制限速度を設定している場合は、その速度設定が適切かどうかを見直し、問題があれば再設定を行います。新たな構内走行ルールを「見える化」しておくことも重要です。構内は社外の運転者が出入りすることもあるため、ルールが一目で分かるように、案内板や路面標示を設置しておきましょう。

##### ～集中力が切れやすい帰社時の注意喚起～

業務を終えて帰社してきた従業員は、疲労や安堵感から集中力が切れてしまい、ついっっかり安全確認を怠って事故を起こすことがあります。日頃から朝礼等で「安全に駐車するまでが運転」であることを運転者に伝えて、集中力を切らさず運転するように徹底しましょう。

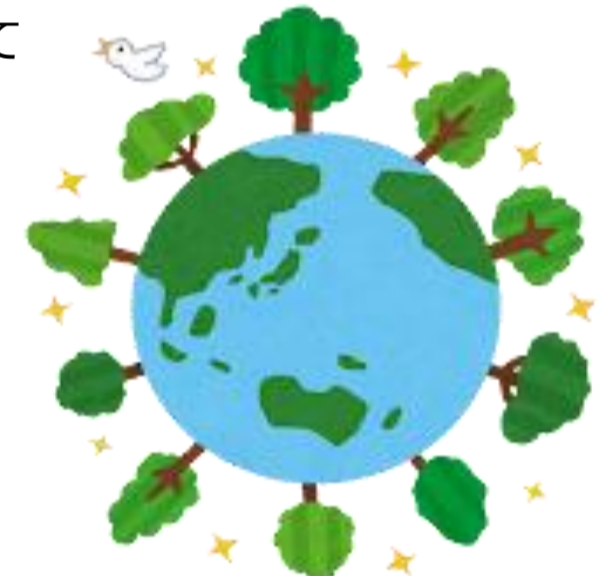
#### 2. 安全運転に繋がるエコドライブに取り組もう

11月はエコドライブ推進月間です。これを機にエコドライブに取り組んでみましょう。

エコドライブの具体的な方法は、エコドライブ普及連絡会が「エコドライブ10のすすめ」としてまとめています。主なものとしては、

- ・発進時は優しくアクセルを踏む
- ・車間距離にゆとりを持って、加速/減速の少ない運転を励行する
- ・ムダなアイドリングをしない
- ・減速時の早めのアクセルオフ

などがあります。加減速の少ないエコドライブは、燃費等の向上だけでなく、交通事故防止にもつながります。まずは、できる項目から実践していきましょう。



#### 3. あおり運転（妨害運転）に気を付けましょう

令和2年6月に妨害運転罪が創設されて厳正な取り締まり対象となりましたが、いまだにあおり運転を受けたという報道を頻繁に目にします。あおり運転をした方の言い訳を聞くと自分勝手なものがほとんどです。しかし、あおられた側の車に全く非がないかという、そうとも言えないこともあります。次のポイントを確認しておきましょう。

- ①車間距離を保つ。
- ②急な割り込みや幅寄せをしない。
- ③不必要な車線変更をしない。
- ④追い越しなどでやむを得ない場合を除き、原則として片側2車線の道路では、左側の車線を走る。3つ以上の車線がある時は速度が遅い車が一番左側を走り、もっとも右側の車線は追い越しのために空けておく。
- ⑤他のドライバーの模範となる運転を心がける。
- ⑥多忙や長時間の運転などで集中力が欠如し、運転操作が疎かにならないようにする。
- ⑦時間に余裕を持った計画的な運転を心がける。



#### 4. 危ない運転習慣、事故に繋がります

青信号に変わった途端に発進するクセはありませんか。このような運転をしていると、横断歩道を渡り遅れた歩行者と衝突する危険があるほか、まだ発進していない前車に追突するおそれがあります。信号が青になっても慌てて発進せず、しっかり安全を確認してから発進する習慣をつけましょう。



## II. 今月の事故事例

### ◆事故の発生状況

令和〇年11月某日 18時20分頃 天候：晴れ

### ◆事故の当事者

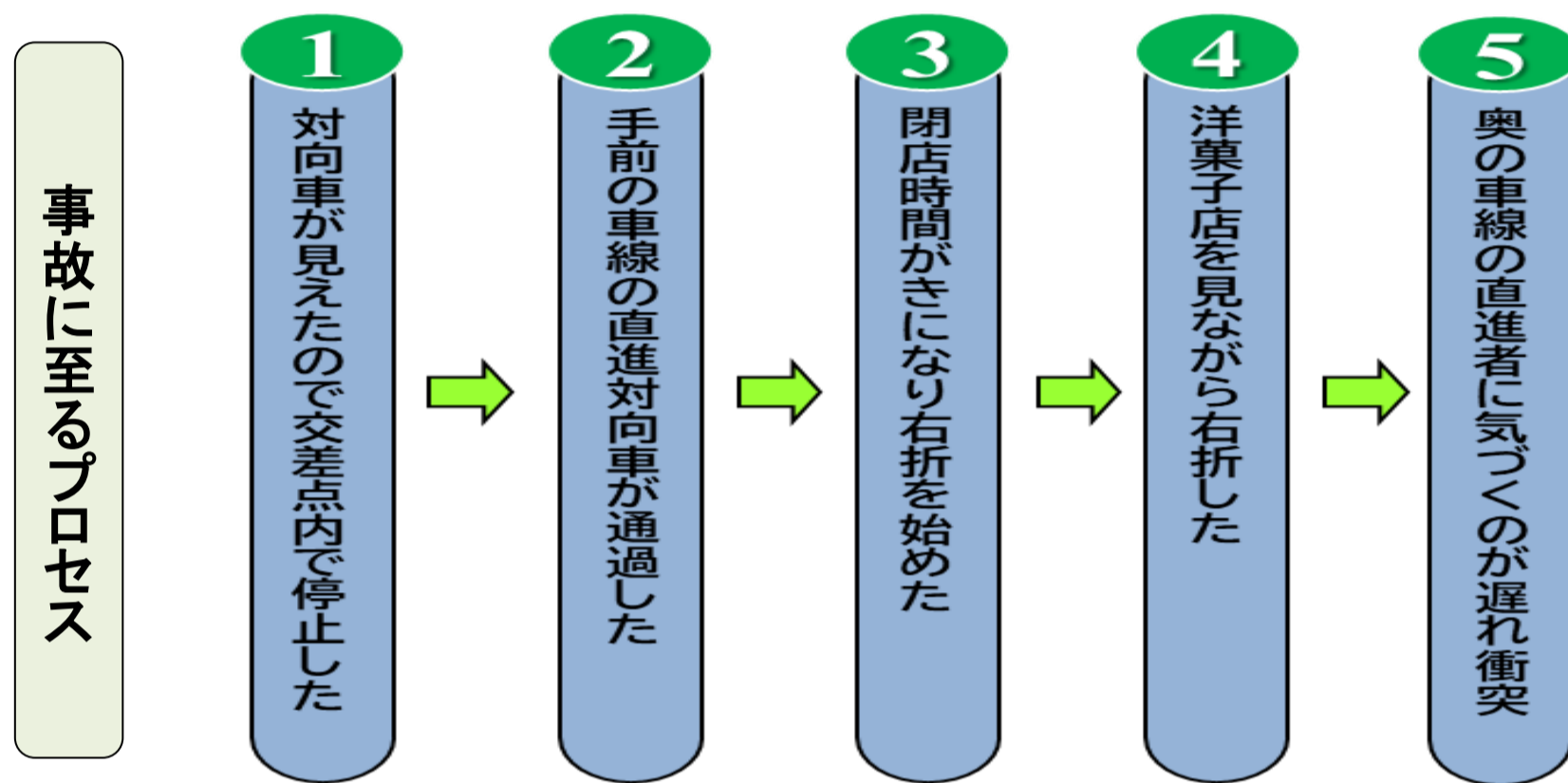
A／男性39歳 乗用車運転 B／男性27歳 乗用車運転

### ◆事故の発生概要

Aさんは、郊外の食品製造工場に勤務する会社員で、毎日、自宅から工場までマイカーで通勤しています。事故が発生した当日は、会社からの帰りに洋菓子店に寄ることになっていました。会社を出て片側3車線の幹線道路を走行し、洋菓子店に行くために右折する交差点に差しかかりました。信号が青であることを確認した際に対向車のライトが見えたので、対向車が通過してから右折しようと、交差点中央で停止しました。

一方のBさんは、自宅に向かっていちばん左側の車線を走行していました。交差点の手前で青信号であること、対向車が交差点中央に停止していることから、信号が赤に変わる前に通過しようとしてスピードを上げました。

Aさんは、交差点付近にある洋菓子店の閉店時間が心配になり、手前側車線の対向車が通過したことから、「今なら右折できる」と、洋菓子店や横断歩道のほうを見ながら右折したところ、奥の車線を走行してきたB車に気づくのが遅れ、急ブレーキをかけたが間に合わず衝突してしまいました。



### 事故の原因と背後要因

- ① 洋菓子店の閉店時間が気になり、先急ぎの気持ちがあった。
- ② 手前側の車線を走行する対向直進車が通過したことから、右折できると判断した。
- ③ 右折中も対向車線を確認せず右折先にある店舗や横断歩道の状況を見ていた。
- ④ 奥の車線を走行してくる車に注意を向けていなかった。

### 類似事故を起こさないために運転者の対策は

#### ● 対向車を探し出す意識を持ち、安全確認を徹底する

多車線交差点を右折するときは、「対向直進車を探し出す」といった意識を持ち、対向車線や右折先の横断歩道等の安全を確認する。

#### ● 対向車線を広く見て、対向車が通過後に右折する

多車線交差点では、1台の対向車が通過後にあわてて右折すると、別の対向直進車と衝突するおそれがある。交差点を広く見て、対向車がない状態でゆっくり右折する。

### ワンポイントアドバイス 交差点の右折は意外と時間がかかる

ドライバーが無理な右折をする理由の一つに、右折する時間を実際よりも短いと考えていることがある。右折時間を調べたある実験では、片側2車線の道路を右折するのに、速い人で約3.1秒、遅い人で約5.9秒もの時間がかかっている。もし、対向車が時速50キロで接近してきたとすると、3秒で約42m、6秒なら約84mも接近してくることになり、右折を始めたときの対向車の位置によっては衝突するおそれがある。右折は意外と時間がかかることを頭に入れ、対向車が通過してから右折することを徹底しよう。



## III. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	通勤中	どこで	一般道路
何をしている時に	片側3車線バイパスで右車線から中央車線に変更しようとしたとき		
どうなった	左車線から中央に変更してきた車と接触しそうになった		

以上